

すまいる

2021年10月15日発行

No.10

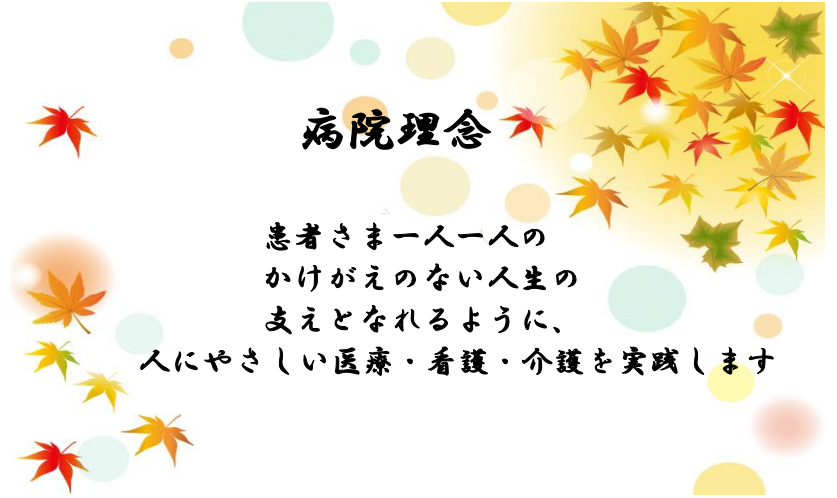
〈編集・発行〉栄聖仁会広報委員会



こちらのイラストは当院入院患者様の塗り絵作品です◎

病院理念

患者さま一人一人の
かけがえのない人生の
支えとなれるように、
人にやさしい医療・看護・介護を実践します



ごあいさつ

夏が短かったせいで夏の虫と秋の虫の合唱を楽しむことができました。お聴きになりましたか？
オリンピック、パラリンピックは無観客という状態ではありましたが、一年遅れで東京にて開催となりました。日本で、ましてや隣の東京で開催されているはずなのですが、現実味がなく、なんとなくテレビで視聴しましたら、選手たちの活躍、キラキラした笑顔、涙に刺激を受け、いつの間になくなっていた元気を頂きました。見えないものとの戦いは長期戦となり、自分は元気に過ごしていると思っていましたが、弱っていたのかなと自分を振り返る機会となりました。元気をもらった方も多かったのではないのでしょうか。

安心できる日を目指し、元気に笑顔で毎日を過ごしていきたいと思います。

〈広報委員 松井〉

ワクチンについて



当院では、サテライト型接種施設として新型コロナワクチン接種を実施してまいりましたが、10月1日より基本型接種施設として横浜市から決定の通知を受けました。

今後も院内の感染症拡大防止はもちろん、まだワクチン接種ができていない横浜市民の皆様への接種を拡大してまいります。

当院で新型コロナワクチン接種を希望の方は横浜市接種予約センターまでご連絡ください。

横浜市専用予約：0120-045-112

URL：<https://yokohama.v-yoyaku.jp/login>

オンライン面会を行なっています

現在、新型コロナウイルス感染予防のため、面会現制限が長期化しご家族の皆様にはご心配をおかけしております。

当院では『LINE WORKS』アプリを用いたオンライン面会を予約制にて実施しております。

患者様、ご家族様ともに、表情を確認し合いながら、お互いの近況報ができる大変ご好評をいただいております。ぜひ、ご活用ください！

合併症の食事について

今月号は、当院管理栄養士より『合併症の食事』について説明します！



常食

当院では認知症の症状の患者様に対して様々な形状の食事を提供しております。普通食から刻み食・ミキサー食・ゼリー、ムース食とどんな患者様にも対応できるよう考えています。

近年、『飽食の時代』を通過てこられた世代が合併症を持ちながら認知症を発症するケースが増えています。

主な病態は慢性心不全が大半を占め、次いで糖尿病・腎疾患・肝疾患・貧血など2つ以上の病態を持っている方が5割以上になっています。

認知症のケアをしつつ、合併症の悪化を防ぐために一般の病院と変わらない病態食を提供し、ドクターと看護部と提携して一人一人を見守りながら細かく対応しています。患者様がよりよい環境に移っていけるようサポートしております。

献立は
鮭の塩焼き
しぎ焼き
春雨の酢の物
味噌汁です

刻み食



ミキサー食



医療法人社団聖仁会

栄聖仁会病院

〒247-0014

神奈川県横浜市栄区公田町 337-1

TEL: 045-895-0088 FAX: 045-893-6053